

記録作成日:2019-05-07

柳澤健太郎

日時 2019-05-06 13:10-14:00

場所 カナダ オタワ カナダ国立図書館文書館(Library and Archives of Canada)

1. Opening of the meeting

主査から、資料は N13、N14、N15 の 3 点。今回の目的は、技術報告書案(DTR)を技術報告書(TR)化するための次の手順の決定との趣旨説明。

2. Roll call of the delegates

Convenor: 宮澤彰 (日本、JISC)

事務局: Todd Carpenter (米国、NISO)

事前登録者は、日本、米国、オーストラリアから遠隔参加を含め 6 名参加。オブザーバーとして中国・カナダ等から 5 名参加。

3. Adoption of the agenda (N13)

採択

4. Comments on CD 22038

- ・国際規格の制定から TR の作成への方針変更はメールで承認済み。
- ・コメント処理(N14)と DTR (N15)は、4 月 15 日に ISO のサイトに掲載。デンマークから N14 に同意する旨の連絡があったほか意見はなく、合意とみなされる。
- ・殆どどのコメントは、N15 に反映済み。後述の未反映の点は、将来の課題となる。
- ・#002 (カナダ): 国際的な枠組みを示し、ウェブページへの表示以外の記載も扱うべき。

コンビーナの見解: CD22038 の対象は、人間の視認できる記述のみ。機械可読の情報も扱うのが理想的だが、現段階では困難。また知的財産に関連する法や登録制度は多様であり、国際的に統合された枠組みはない。具体的な修正案はなく、将来的な課題となる。

- ・#013 (カナダ): ウェブ以外の技術による提供も考慮すべき。

コンビーナの見解: デジタルコレクションのサービスは、現段階ではウェブに基づくものがほぼ全てで、それ以外の枠組みはない。将来の課題である。

- ・#019 (米国): 附属書 A は静的な記載と自由利用の表示に偏っている。

米国からの補足: 自由利用と「不許複製・禁無断転載」(all rights reserved)の両極端の間に、国ごと、業者ごと、製品ごとの多様な形があることを考慮すべき、との趣旨。

コンビーナの見解: MPEG と XPL の例を附属書 A に追加し、関心を広める呼び水とする。

5. TR 22038 development

- ・ 要求事項を含まないため TR とする旨と、今後の予定を決議にかける。
- ・ 8 月末までに改訂案を回付、8 週間意見を募集し、10 月 15 日までに反映版を DTR 投票へ。

6. Any other business

なし

7. Closure of the meeting